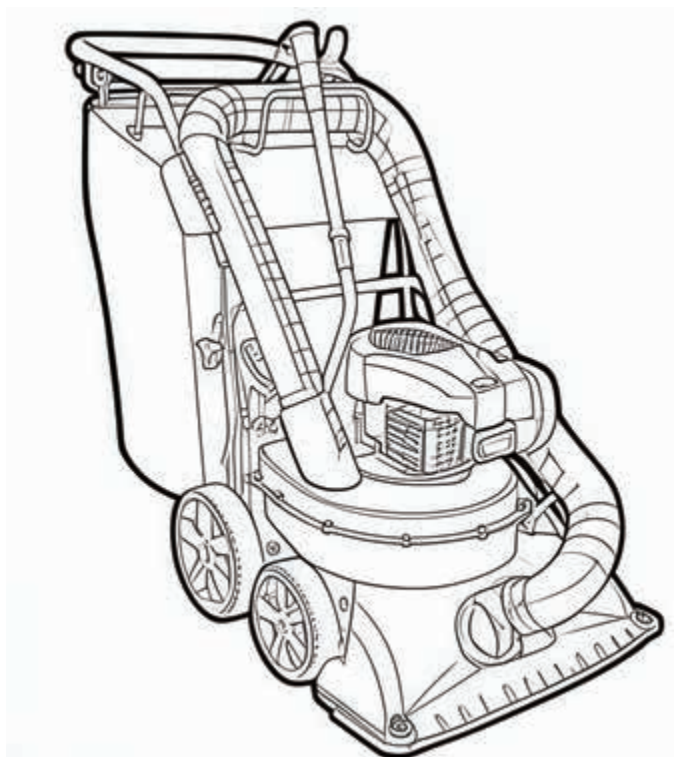


バキューム・集草機(ブロワー付) —DY580-140S—



Vine
by WAKO

取扱説明書

Product Using Manual

 **和光商事** **WAKO**
株式会社
www.wako-shoji.jp



新しいバキューム・集草機(ブロワー付)を最大限に活用するに取扱説明書と安全に関する注意事項を読みください。

また、必要がある場合に備えて、取扱説明書は必ず保管しておいてください。

目次

一般的な安全に関するガイダンス	3
概要図	5
組み立ての手順	6
製品仕様	11
使用方法	12
潤滑の方法と注意事項	19
エンジンについて	19
機械の洗浄と保管	20
機械のメンテナンス手順	21
トラブルシューティング対策	23

アフターサービス

本製品に質問がある場合には、販売店にお問い合わせください。

免責事項

製造者は要望や改善のために随時製品の向上を行っております。本取扱説明書と違いがあった場合には製品を正としてご使用するようご注意ください。

また、本取扱説明書にない使用方法でのご使用をされた場合、保証などの対象とはなりませんのでご注意ください。



ご使用前に取扱説明書
と安全上の注意事項を
お読みください



保護メガネを装
着してください



保護手袋を着
用してください



安全靴を着用
してください

輸入販売元

和光商事株式会社
www.wako-shoji.jp

業務受注センター：〒336-0034 埼玉県さいたま市南区内谷 5-7-16 ☎ 0120-114-820
札幌営業所：〒069-0210 北海道空知郡南幌町南 10 線西 14 番 TEL:011-375-9747 FAX:011-351-1712
東北営業所：〒020-0862 岩手県盛岡市東北北 1 丁目 12-25 TEL:019-635-0824 FAX:019-635-0825
東京営業所：〒336-0034 埼玉県さいたま市南区内谷 5-7-16 TEL:048-845-0025 FAX:048-864-5565
大阪営業所：〒563-0024 大阪府池田市鉢塚 1 丁目 5-7 TEL:072-734-6500 FAX:072-734-6501
九州営業所：〒861-8001 熊本県熊本市北区武蔵ヶ丘 9-2-40 TEL:096-338-1260 FAX:096-338-1365
修理サービス部：〒336-0034 埼玉県さいたま市南区内谷 5-7-16 TEL:048-864-5636 FAX:048-864-5618
本社：〒141-0031 東京都品川区西五反田 8-7-11 アークス五反田ビル 6F TEL:03-5434-2751 FAX:03-5434-2597

一般的な安全に関するガイドンス

■安全に関する重要事項

本製品を安全にご使用いただくため、必ず本書をよくお読みください。
本書はいつでも参照できるよう大切に大切に保管してください。

■一般的な安全警告

ガソリンエンジン機器は誤った使用をすると、
重大な事故やけが、機器の破損につながる恐れがあります。
必ず以下の安全事項を守ってください。

■トレーニング

- ・取扱説明書を十分に理解したうえで使用してください。
- ・子供や操作方法を理解していない人には使用させないでください。
- ・作業中は周囲に人やペットを近づけないでください。
- ・作業者は周囲への安全責任を負います。

■ガソリン取扱時・機器の使用時には、常に以下の事項を遵守してください。

- ・燃料補給は屋外で行い、給油中は絶対に喫煙しないでください。
- ・燃料はエンジン停止後、十分に冷却してから補給してください。
- ・運転中またはエンジンが高温の状態で、燃料タンクキャップを開けたり給油したりしないでください。
- ・ガソリンをこぼした場合は、エンジンを始動しないでください。機械をこぼれた場所から移動し、ガソリン蒸気が拡散するまで火気を近づけないでください。
- ・燃料タンクおよび容器のキャップは確実に閉めてください。

■作業前には以下を確認してください。

- ・使用前に、ブレード、ボルト、ナット、シャフトなどに摩耗・損傷がないか点検してください。
- ・摩耗または損傷した部品は交換してください。
- ・機械のバランスを保つため、損傷したブレードやボルトは必ずセットで交換してください。

■使用時の注意事項

- ・換気の悪い場所や、可燃性ガスが存在する恐れのある場所では使用しないでください。
- ・作業は十分な明るさのある場所で行ってください。
- ・斜面で作業する場合は足元に十分注意してください。
- ・歩行速度で作業し、走らないでください。
- ・急斜面での作業は避けてください。

■エンジン始動時の注意

- ・エンジン始動前に、すべての駆動クラッチを解除してください。
- ・始動時は取扱説明書に従い、足元に注意して行ってください。
- ・回転部の近くや下に手足を置かないでください。
- ・排気口の前に立たないでください。

●使用中および保守時の注意

- ・エンジン作動中は、機械を持ち上げたり運搬したりしないでください。
- ・点検、清掃、調整を行う前には、必ずエンジンを停止し、可動部が完全に停止していることを確認してください。
- ・異常な振動が発生した場合は、直ちにエンジンを停止し、原因を確認してください。
- ・安全のため、摩耗または損傷した部品は速やかに交換してください。
- ・回転部には絶対に触れないでください。
- ・エンジン停止は必ず換気の良い場所で行ってください。

■表示マーク

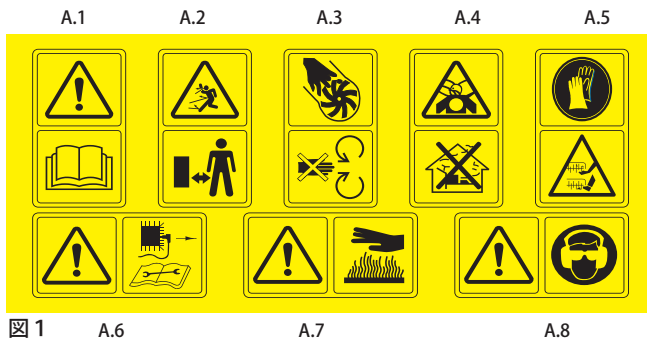


図 1 A.6 A.7 A.8

A1: 取扱説明書を必ずお読みください。
A2: 周囲に人やペットを近づけないでください。

A3: 回転部に手や足を近づけないでください。

A4: 屋内で使用しないでください。

A5: 保護具を着用してください。

A6: 点検・修理時はスパークプラグを外してください。

A7: 高温部に注意してください。

A8: 作業時は耳栓を着用してください。

図2



回転部に手や足を近づけないでください。重大なけがの原因となります。

図3 スロットル表示

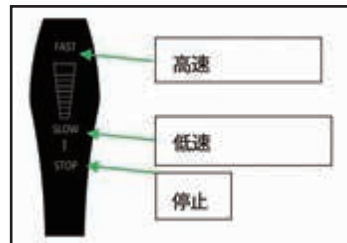
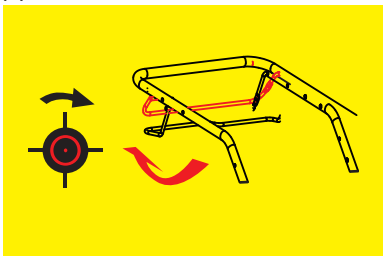
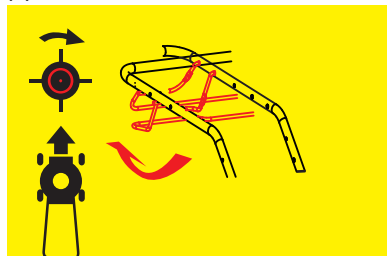


図 4-1



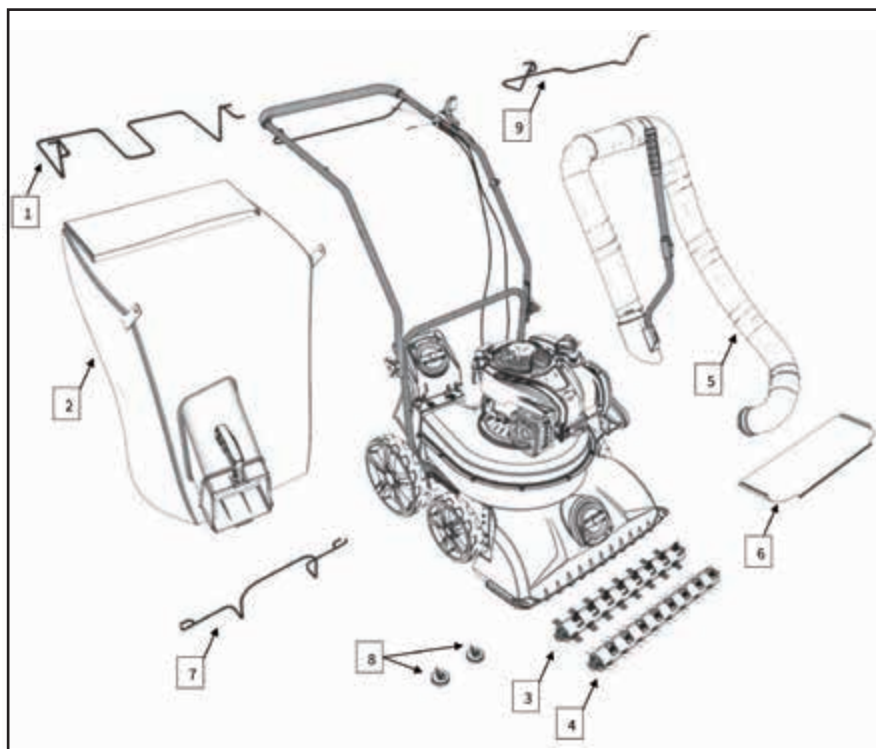
■ 自走機能レバー
レバーを握ると前進します。

図4-2



■ ローラーブラシ操作レバー
レバーを操作してブラシを回転させます。

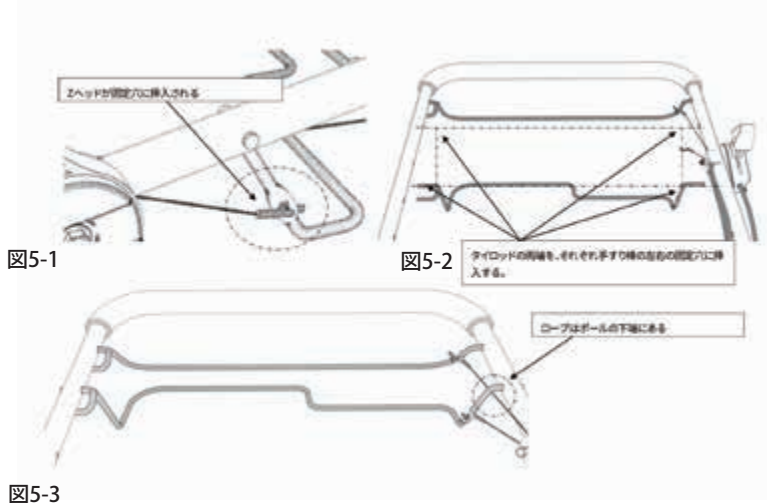
概要図



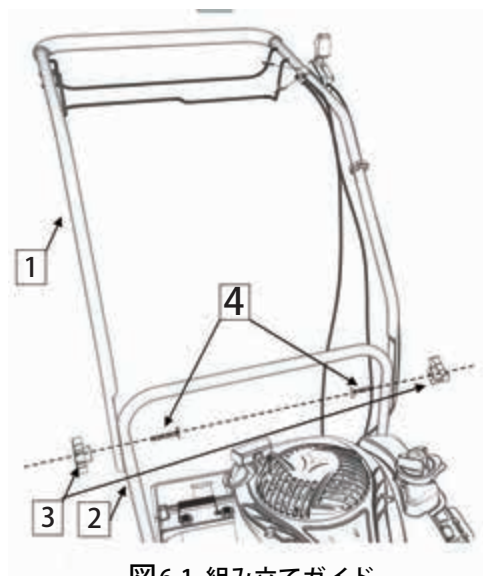
番号	付属品名称	説明
1	集塵袋固定ブラケット	集塵袋を固定するために使用します。
2	吸引ゴミ 収集袋	ゴミを収集するために使用します。
3	クリーニングディスク	地面の清掃に使用します。
4	コームブラシ	芝生をとかすために使用します。
5	補助ホース	機械が入りにくい場所のゴミを吹き飛ばしたり、ために使用します。
6	吸引口パップル	吸引口を完全に閉じることで、ホースの吸引力を最大化します。
7	ホースブラケット	ホースや収集袋を吊り下げるために使用します。
8	プーリー	衝撃を受けた際に機械の方向を変え、吸引口を保護します。
9	後輪駆動レバー	後輪を自走させるために使用します。

組み立ての手順

① 後輪駆動レバーアセンブリ—下図の指示に従って駆動レバーを取り付けます。

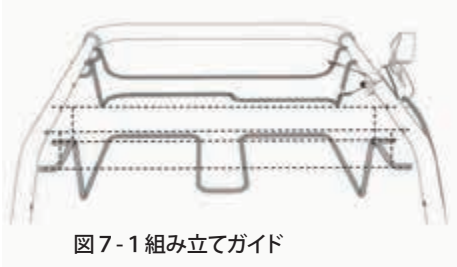


② 上部アームレストの組み立て—上部手すりバーアセンブリを下部手すりバーに置き、ガイドに従ってください。点線に従って、2本のボルトを取付穴に通し、ノブをしっかりと締めます。



- 1番: 上部ハンドルアセンブリ
- 2番: 下部ハンドルアセンブリ
- 3番: ノブ (M8)
- 4番: 半丸頭角首ボルト (M8×46)

③集塵袋固定ブラケットの左右の端を、上部ハンドルアセンブリの対応する4つの穴に差し込みます。



④ホースブラケットの組み立て—ホースブラケットの左右の端を対応する2つの穴に挿入いたします。



⑤集塵袋の取り付け方法

- (1)集塵袋の上部をブラケットに差し込みます。
- (2)左右のクリップでしっかり固定します。
- (3)フック(吊り具)を左右に掛けます。
- (4)バツフルを押してカバーを開きます。
- (5)接続口を差し込みます。



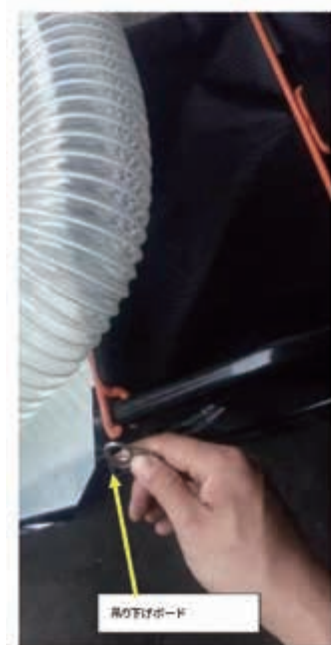


図9-4



図9-5 バブルを押して背面カーバを開ける



図9-6 背面フラケットを挿入する



図9-7 所定の位置に挿入する



図9-8 設置完了図

⑥ローラーブラシの組み立て

- (1)吸引口を持ち上げ、クイックリリーストリガーを引いてクイックリリースを開きます。カバーを取りてください。
- (2)ローラーブラシの四角い端部をシャフトの四角穴に合わせ、ベアリング側をクイックリリースブラケットのベアリング取付位置に差し込みます。
- (3)その後、クイックリリーストリガーを引き、上部カバーを固定します。

注意事項

- ・本部品を取り付ける前に、必ずエンジンを停止し、機械が完全に停止していることを確認してください。
 - ・ローラーブラシが正常に作動しない場合は、再度取り付けるか、必要に応じて交換してください。
- クイックリリースカバーは、所定の位置に「カチッ」と音がするまで確実にはめ込んでください。
- ・トリガーを引かずにローラーブラシをしっかりと引いて、確実に固定されていることを確認してください。
- 固定が不十分な場合、ローラーブラシが外れる恐れがあります。外れた場合は、再度正しく取り付けてください。



図10-1 引き金を引く



図10-2 上部カバーを開ける



図10-3 四角ハートを挿入



図10-4 ベアリングをはめ込む



図10-5 カバの取り付け



図10-6 設置完了図

⑦補助ホースの組み立て

吸引ポートのカバーを開け、ホースの端をインターフェースに合わせます。固定ブラケットを取り付け、インターフェース固定ブラケットのマーキング指示に従って右方向に締め付けます。



図11-1 カバーを開ける



図11-2 ホーススタを挿入する



図11-3 インターフェースをぶち抜く



図11-4 インストール図を完成する

⑧吸引口バップルの取り付け-ホース固定ブラケットにバップルをはめ込む.

注:ホースを吸引に使用しない場合は、ここにバップルを取り付けます。

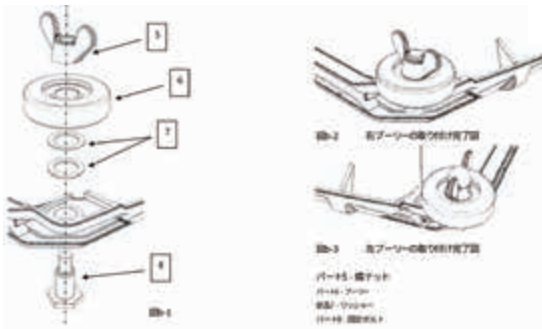


図12-1 吊り下け式バップル



図12-2 設置完了図

⑨プーリーの組み立て



部品5:蝶ナット
部品6:プーリー
部品7:ワッシャー
部品8:固定ボルト

製品仕様

本体仕様

項目	仕様
機械モデル	DY580-140S-00
エンジン	BS500E
エンジン出力	2.03 kW
排気量	140 cm ³
燃料タンク容量	0.89 L
エンジンオイル容量	0.47 L
エンジン回転数	3400 回/分
歩行速度	3.4 km/h
収集袋容量	135 L
吸引高さ	15 mm～50 mm
吸入風速	26 m/s
吹出口風速	43 m/s
オペレーター位置騒音レベル	86 dB(A)
音響パワーレベル	105 dB(A)
振動値	4.2 m/s ²
作業傾斜角	20°
始動方式	リコイルスターター
本体サイズ	長さ1305 × 幅602 × 高さ1080 mm
正味重量	40 kg
総重量	43 kg

付属ホース仕様

項目	仕様
ホース長さ	2500 mm
ポール伸縮長さ	730 mm～990 mm
ホース径	90 mm
ホース吸引風速	40 m/s
ホース吹出風速	46 m/s

使用方法

①機械を起動する

作業を開始する前に、組み立てた付属品がすべて確実に固定されていることを確認してください。

1.オイルラベルの位置でオイルレベルゲージを確認し、本マニュアルのパラメータ表に記載されているオイル容量に従って、適量のエンジンオイルを補充してください。

2.燃料ラベルの位置で燃料タンクキャップを緩め、本マニュアルのパラメータ表に記載されている燃料容量に従って、適量のガソリンを補充してください。

3.マイクロスイッチのロッカーアームが閉じていることを確認してください。



図13-1 スwitchロッカー（開状態）



図13-2 スwitchロッカー（閉状態）

4.スロットルハンドルを始動位置まで引いてください。（図13-1、13-2参照）



図14-1 スロットルハンドル（エンジン停止位置）



図14-2 スロットルハンドル（エンジン始動位置）

5.プライマリーポンプを3～5回押してください。（図15参照）



図15 プライマリーポンプを押す

6.エンジン始動ハンドルを引いて、エンジンを始動してください。（図16参照）

●注意

ハンドルを引く前に、周囲の安全を確認してください。
腕にけがをするおそれのある鋭利な物は、あらかじめ取り除いてください。



図16 機械を始動する

②吸引口の高さ調整

高さ調整ハンドルを位置スロットから引き出し、説明書のパラメータ表に従って高さを設定してください。使用場所や状況に応じて、5段階の位置から最適な高さを選択できます。



図17-1 ハンドルを引き出す

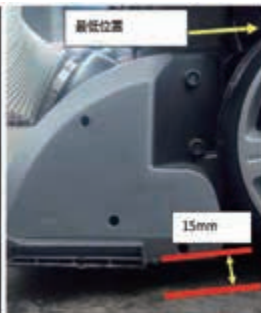


図17-2 高さ距離図

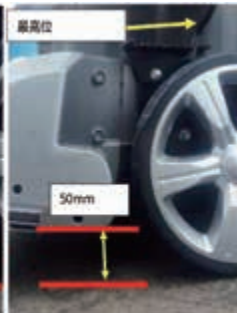


図17-3 高さ距離図

③ガイドホイールの機能

通常走行時、45度未満の角度で障害物に接触した場合、路面の段差(約50mm～80mm)を乗り越えることができます。

また、固定された硬い物体に接触した場合、ガイドホイールが回転することで進行方向が変わり、障害物を回避することができます。これにより、機械への衝撃を軽減し、損傷を防ぎます。

(図18-1、18-2参照)

注意事項

- 通常の走行速度(本書14ページ参照)を超えないようにしてください。
- 45度を超える角度での衝突は行わないでください。
→ガイドホイールの機能が正常に働かず、吸引口が破損する恐れがあります。
- 本機能は補助的な保護機能です。
過度な衝撃を与える目的で使用しないでください。
- 操作時は周囲の状況に注意し、事前に速度を落として障害物を回避してください。



図18-1 衝突角度



図18-2 滑車の役割

④ローラーブラシの始動

- (1) ローラーブラシディスクを正しく取り付けて、機械の始動後、ローラーブラシ駆動レバーを閉じて作動させます。



図19-1



図19-2 引きロッドの開方向



図19-3 クランプレバー



図20 動作図

(2) ローラーブラシディスクの役割と使用上の注意

- 1) ローラーブラシディスクは、「クリーニングディスク」と「コームブラシ」の2種類で構成されています。
(図21-1、図21-2参照)



図21-1 クリーニングディスク



図21-2 コームブラシ

2) スィーピングディスクの役割

地面にゴミが詰まっている場合や、濡れた落ち葉が地面に貼り付いて処理しにくい場合は、スィーピングディスクを使用してください。ブラシは地面を傷つけにくい設計となっています。

3) コームブラシの役割

芝生のお手入れには、コームブラシを使用してください。
ブラシに付いている鋼鉄製の爪が、草の根に絡まったゴミをかき出します。

4) 機械全体の作業エリアに関する注意事項

- ローラーブラシや機械は、過酷な環境では使用しないでください。
- 柔らかい繊維や布地を吸引するために本機を使用しないでください。
- ゴミ捨て場では機械を使用しないでください。大きなゴミは吸い込まないでください。

5) 適切な作業エリア

- 地面と芝生が落ち葉で覆われている状態。
- 落ち葉がたくさん積もった地面や芝生の状態

⑤自走操作手順

- 1).機械を起動したら、まずローラーブラシ駆動レバーを閉じ、次に自走駆動レバーを閉じます。
(図23-1、2、3参照)



図22-1 ロッドを引く方向



図22-2 クランプレバー



図22-3 車輪の回転方向

⑥補助ホース

(1)組み立て手順

- 1).補助ホースは、組み立て手順書「組み立て手順6補助ホースの組み立て」(10~11ページ)の手順に従って組み立ててください。
- 2).吸引ポートバップルを吸引ポートに挿入します。(図24-1、2参照)



図23-1 バップルを押入する



図23-2 バップルを所定の位置に挿入する

- 3)機械を起動し、ホースの先端をゴミに向けてください。(図25参照)

- ・注意 :ホースの積み下ろしを行う際は、必ずエンジンを停止してください。
- ・注:吸引口のバップルは、補助ホースを吸引する場合にのみ使用します。



図24 ホースを使う

(2)補助ホース機能—伸縮機能

1)伸縮チューブにより、さまざまなハンドル位置の高さを調整できます。

2)ハンドルの位置を前後に調整しながら、親指でロックを押します。(図25-1、2参照)



図25-1 ロックを押し開ける



図 25-2 伸縮高さを調整

(3)補助ホース機能—送風機能

1).背面力バーを閉じます。(図33-1、2、3参照)



図26-1 背面力/バーを開じます



図26-2 完全に閉じる



注意事項

- ①この機能を使用する際は、必ず機械の電源を切ってください。
- ②完全に閉じた状態で、背面パネルのベゼルが背面カバーをしっかりと固定していることを確認してください。
- ③完全に閉じた状態で、スイッチロッカーアームが背面カバーで閉じられているか確認してください。注意:機械の作動中は補助ホースを取り外すことは厳禁です。

図 27 スwitchのロッカーアームが完全に閉じている

- ②.補助ホースのテールコネクタをリアカバーのホースコネクタに取り付けます。(図25)
機械を起動し、ホースの先端をゴミに向けてください。(図26-1 26-2 27参照)



図 28 -1 カバを開け



図 28-2



図 29 ホースを使う

- ③補助ホースの使用上の注意。

1.「機械全体の作業エリアに関する注意事項(15~16ページ)」および以下の注意事項に従って、操作方法を詳しく理解してください。

注意事項

- 作業中は、ホースをまっすぐに伸ばし、最大の吸引力と風速が得られるように操作してください。
- 作業中は、ホースを他人や作業エリア外に向けることを固く禁じます。
- 機械の運転中は、ホース接続部の着脱を行わないでください。
- ホースを引っ張って機械を前後に移動させないでください。
- ホースの先端を液体、火気、危険ガスに近づけないでください。
- ホースの差し込み口より大きいゴミは吸い込まないでください。
- ホースが詰まった場合は、必ず機械を停止してから点検・清掃を行ってください。
- ホースはエンジンのサイレンサーから十分に離してください。

⑦収集袋の使用方法

(1) 収集袋は、組み立て説明書の手順に従って組み立ててください。

(2) 機械の使用時、機械が吸し込んだ粉塵によって集塵袋の通気孔が詰まったり、集塵袋がいっぱいになった際に空気が逆流したりすることがあります。この場合は、排気窓のファスナーを隔けて集塵袋を換気するか、集塵袋がいっぱいになっていないか確認してください。(図27-1、2、3参照)



図 30-1 粉塵の逆流



図 30-2 ファスナーを開ける



図 30-3

(3) 収集袋がいっぱいになったら、機械を停止し、収集袋を取り外してゴミを捨ててください。(図28-1、2、3、4、5、6参照)



図 31-1 バッグインターフェースを取り外す



図 31-2 収集バッグ吊り下げ、プレートを取り外す



図 31-3 収集バッグを取り外す



図 31-4 集袋の口を開ける



図 31-5 収集袋の口を開ける



図 31-6 葉を捨てる

⑧エンジンを停止する



図 32 ハンドルオフ位置

スロットルハンドルをフレームアウト位置に移動します。

⚠ 収集袋の使用上の注意

1. 逆流が発生した場合は、集水器の通気孔をご確認ください。
2. 回収袋が満杯になっていないか確認してください。
3. 機械を停止し、回収袋の接続口（インターフェース）が詰まっていないか確認してください。

注：回収袋の着脱を行う際は、必ず機械の電源が切れていることを確認してください。

潤滑の方法と注意事項

⚠ 警告

整備を行う前に、必ずエンジンを停止し、完全に停止していることを確認してください。

①潤滑に関する指示

1. 各車輪のボールベアリング、ギアおよびシャフトには、定期的に適切なオイルを塗布してください。
2. エンジンの潤滑については、エンジンの取扱説明書に従ってください。

②注意

運転中または移動中に、ギアやベアリングに異常（異音・発熱など）が発生した場合は、直ちに運転を停止し、点検のうえ必要に応じてグリースを補充してください。



図33-1 ギアにグリースを塗布する



図33-2 出力軸にグリースを塗布する

エンジンについて

①エンジンの説明

本製品は高性能エンジンを搭載しており、安定したパワーと優れた耐久性を実現しています。日常のメンテナンスは簡単で、付属のエンジン取扱説明書に従うだけで安心して長くご使用いただけます。

エンジンオイルの管理もわかりやすく、初心者の方でもスムーズにお手入れが可能です。

②エアフィルター（快適な動作をキープ）

エアフィルターはエンジン性能を保つ重要なパーツです。通常は付属の説明書に従ってメンテナンスするだけでできます。高温時やホコリの多い環境でも、こまめな清掃で常にベストコンディションを維持できます。万が一エンジンの調子が悪い場合でも、エアフィルターやキャブレターを点検することで、安定した性能を取り戻せます。

③スパークプラグ

シーズン開始時にスパークプラグを点検・交換することで、エンジンの始動性が向上し、快適に作業を開始できます。

適合するプラグや設定については、付属の説明書でしっかり確認できます。

④清掃

定期的に布やブラシでエンジンを清掃してください。

空気の流れを良くするために、冷却部分（ブロワーハウジング周辺）を清潔に保ってください。

エンジン性能と寿命の維持に重要です。

また、マフラー周辺の草、土、可燃物は必ず取り除いてください。

機械の洗浄と保管

●ご使用前に

機械を良好な状態に保ち、トラブルを防ぐためには、適切な清掃と保管が重要です。

また、腐食を防ぐことで、次回使用時のエンジン始動をスムーズにすることができます。

①清掃

(1)エンジンの清掃

●エンジンは手作業で清掃し、水が内部（エアフィルターやキャブレター）に入らないよう注意してください。

●ガーデンホースや高圧洗浄機は使用しないでください。水の侵入により故障の原因となります。

●運転直後のエンジンは高温のため、清掃前に30分以上冷ましてください。

●清掃前に、燃料バルブが閉じていることを確認してください。

●スパークプラグキャップを外してから作業してください。

(2)本体の清掃

●機械を横にする場合は、エアフィルターが上を向くようにしてください。

燃料漏れや始動不良を防ぐことができます。

●作業時は厚手の手袋を着用し、刃物によるケガを防いでください。

②保管

機械を長期間保管する場合は、以下の手順に従ってください。

(1)燃料の処理

使用後は燃料タンクを空にしてください。

a) ポンプなどを使用して燃料を抜き取ります。

※注意：ガソリンは密閉された場所や火気の近くで扱わないでください。喫煙も厳禁です。火災や爆発の原因となります。

b) エンジンを始動し、残っている燃料がなくなるまで運転してください。

c) スパークプラグを取り外し、約20mlのエンジンオイルを燃焼室に注入してください。

スターターロープをゆっくり引き、オイルを内部に行き渡らせてください。

(2)清掃と潤滑

機械全体を清掃し、各部に適切な潤滑を行ってください。

(3)防錆処理

インペラや露出している金属部分に、防錆油を薄く塗布してください。

(4)保管場所

●乾燥していて清潔、凍結しない場所に保管してください。

●子供や関係者以外が触れない場所に保管してください。

(5)注意

●保管前に、エンジンが完全に冷えていることを確認してください。

機械のメンテナンス手順

①適切なメンテナンスの重要性

●定期的なメンテナンスは、安全で効率的な運転を維持するために不可欠です。

●トラブルの防止や機械寿命の延長に役立ちます。

△不適切なメンテナンスは故障や事故の原因となります。

●常にメンテナンス手順に従って作業を行ってください。

●専門的な作業については、販売店またはサービス業者にご相談ください。

②メンテナンスの安全性

メンテナンス作業には危険が伴う場合があります。

安全に作業できるかどうかは、作業者の判断と責任に基づきます。

③安全上の注意

メンテナンス作業を行う前に、必ずエンジンを停止してください。

④定期メンテナンス

(1)エンジンオイル

●使用前に、オイルレベルが規定範囲内にあることを確認してください。

●初回使用後(約5時間)およびその後は定期的にオイル交換を行ってください。

●オイル不足のまま使用すると、以下の原因である。

- ・出力低下
- ・エンジン過熱
- ・部品の早期摩耗

●オイル交換手順

(1)エンジンを停止し、冷却する

(2)オイルを排出する

●オイルレベル確認

オイルレベルを確認する際は、オイルレベルゲージを差し込んで測定してください。

(図34-1 34-2 参照)



図34-1 オイルレベルゲージを取り出す

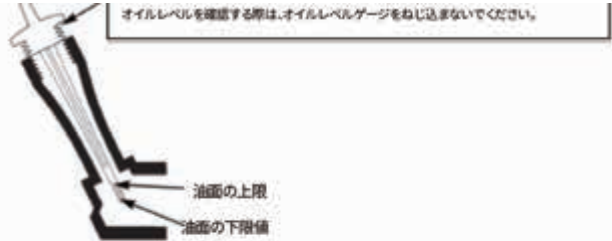


図34-2 オイルレベルの測定

②エアフィルターのメンテナンス

●点検・清掃方法

- ・使用前および使用後に、フィルターの汚れを確認してください。
- ・乾式フィルター：取り外し、軽く叩いてほこりを除去してください。
- ・スポンジ式：中性洗剤で洗浄後、完全に乾燥させてください。
- ・ガソリン洗浄後は、軽くオイルを塗布してください。

●注意事項

- ・詰まりがあると吸気量が減少し、性能低下の原因になります。
- ・内部の細かな汚れは完全に除去できない場合があります。
- ・水洗い後は必ず完全乾燥させてください。
- ・必ずエンジン停止・冷却後に作業してください。エアフィルターの汚れは、エンジン性能の低下や故障の原因となります。



図35-1 エアフィルターカバーの開閉



図35-2 フィルターの取り外し

③ラジエーターのメンテナンス

●点検・清掃方法

- ・使用中に付着したほこりやゴミを定期的に除去してください。

●注意事項

- ・放熱性能の低下はエンジン損傷につながる可能性があります。
- ・安全のため、定期的に清掃してください。
- ・ラジエーターの汚れは、エンジンの過熱や故障の原因となります。

④燃料・オイルの管理

●警告

燃料の取扱いを誤ると、火災や重大事故の原因となります。

●燃料補給

- ・燃料が少なくなった場合は、運転を停止して補給してください。
- ・補給前にエンジン停止後10分以上経過し、冷却を確認してください。

●オイル管理

- ・定期的にオイルレベルを確認してください。

●注意事項

- ・高温状態での給油は火災の原因となります。
- ・指定された燃料のみ使用してください。
- ・オイル不足のまま運転するとエンジン故障の原因となります。

トラブルシューティングと対策

No.	問題	症状	詳細原因	対処方法
1	エンジン始動不可	エンジンがかからない	スロットルレバー位置不正	スロットルを始動位置に調整
2	エンジン始動不可	燃料供給なし	タンク内燃料不足	指定燃料を補充
3	エンジン始動不可	吸気不良	エアフィルター詰まり	フィルター清掃または交換
4	エンジン始動不可	点火不良	スパークプラグ汚損・破損	プラグ清掃または交換
5	エンジン始動不可	電気系統異常	点火不良	サービスへ修理依頼
6	エンジン不安定	回転ムラ	燃料劣化・異物混入	新しい燃料へ交換
7	エンジン不安定	出力低下	フィルター汚れ	清掃または交換
8	エンジン不安定	回転変動	プラグギャップ不良	ギャップ調整
9	異常振動	振動大		ボルト 締付
10	異音発生	異音あり	ブレード / インベラ 異物付着	異物除去
11	異音発生	金属音	インベラ 変形	部品交換
12	吸引不可	吸わない	吸入口・ホース詰まり	ゴミ 除去
13	吸引低下	弱い	空気流量低下	清掃・交換
14	吸引不良	作業不可	ゴミ 過多	ゴミ 排出
15	走行不可	動かない	駆動ベルト 外れ	再装着
16	走行不良	滑る	駆動力不足	ベルト 交換
17	走行不良	直進不可	タイヤ摩耗・変形	交換
18	ブラシ回転しない	動作停止	駆動伝達不可	ベルト 交換
19	ブラシ異常	回転弱い	抵抗増加	清掃
20	吸引不可	空気漏れ	亀裂・穴	ホース 交換
21	吸引低下	接続不良	接続部緩み	再装着

製品保証書

適用期間:

本製品の保証期間はご購入日から6か月です。本保証書を大切に保管してください。

適用範囲:

以下の場合には保証範囲外となります。

- 不適切な使用による故障
- メンテナンス不足による故障
- 不適切な分解修理をした場合
- 浸水や衝撃などによる故障
- 定められた性能を超えた無理な使用方法による故障
- 本保証書及購入レシートがない場合
- 消耗品において使用形跡があるもの

留意事項:

修理期間中に本機が使用できないことに対する補償はいたしません。

修理・メンテナンス

修理およびメンテナンスは本保証書とともにご購入先に持参いただくか、下記の送り先まで元払いにてお送りください。

和光商事株式会社 修理サービス部
〒336-0033 埼玉県さいたま市南区内谷 5-7-16
TEL:048-864-5636
<https://wako-shoji.jp>

メモ